



# XenClient Enterprise アップグレードガイド

## バージョン 5.0

2013/08/19

## 目次

● このドキュメントについて .....	4
● バージョン 5.0 に関する重要なアップグレード考慮事項.....	4
バージョン 5.0 のアップグレードベストプラクティス .....	4
● 手順 1:更新ソフトウェアの入手 .....	5
● 手順 2:Synchronizer への Engine インストーラーのインポート.....	5
● 手順 3 : コンピューターへの新しいバージョンの Engine の割り当て .....	7
● 手順 4 : 光学または USB メディアを使った Engine のアップグレード.....	8
● 手順 5 : ローカルまたは展開済みのカスタム VM 用の PV ドライバーのアップグレー ド .....	9
● 手順 6 : Synchronizer のアップグレード .....	9
手順 6.1 : サーバーに対する Synchronizer インストールプログラムのコピーまたはダ ウンロード.....	9
手順 6.2 : XenClient Enterprise Synchronizer のバックアップ .....	9
手順 6.3 : 実行中のすべてのタスクのキャンセル .....	9
手順 6.4 : すべてリモート Synchronizer インストールのシャットダウン .....	11
● 手順 7 : すべての VM イメージの再公開 .....	11
● 次の作業 .....	12
● リモートオフィスサーバーの影響 .....	12
● VM イメージ更新の状態の追跡.....	12
● Engine の更新状態の追跡.....	13

Copyright © 2013 Citrix All Rights Reserved.

バージョン : 2.1

Citrix, Inc.

851 West Cypress Creek Road

Fort Lauderdale, FL 33309

United States of America

このドキュメントは現状有姿のまま提供されます。Citrix Inc.は、このドキュメントの内容に関し、商品性および特定目的適合性についての黙示保証を含むが、それに限定することなく、いかなる保証も行わないものとします。このドキュメントには、技術的またはその他の観点で不正確な記述、あるいは印字エラーが含まれている可能性があります。Citrix Inc.は、このドキュメントに含まれている情報を予告なく随時変更する権利を留保します。このドキュメントおよびこのドキュメントに記載されているソフトウェアは、Citrix, Inc.およびそのライセンス付与者の機密情報であり、Citrix, Inc.によるライセンス許諾に基づいて提供されます。


Citrix Systems, Inc.、Citrix ロゴ、Citrix XenClient は、米国およびその他の国における Citrix Systems, Inc.の商標です。このドキュメントに記載されているその他のすべての製品またはサービスは、該当する各社の商標または登録商標です。

Citrix Systems, Inc.は、このドキュメントで使用されているすべての商標を承認しています。Linux は Linus Torvalds の登録商標で、Ubuntu は Canonical Ltd.の登録商標です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。すべての商標は、該当する各社の財産です。

## このドキュメントについて

---

このドキュメントは、XenClient Enterprise Synchronizer および XenClient Enterprise Engine のアップグレードに関する情報を提供します。このリリースにアップグレードに関する特定情報に関しては、「リリースノート」を参照してください。


-  Engine と Synchronizer のインストールに関する包括的な情報に関しては、『XenClient Enterprise Engine Installation Guide』 および 『XenClient Enterprise Synchronizer Installation Guide』 を参照してください。


## バージョン 5.0 に関する重要なアップグレード考慮事項

---

Synchronizer あるいは Engine の最新バージョン (現在、XenClient Enterprise バージョン 5.0) へアップグレードする場合は、次の点について考慮します。

- Synchronizer 5.0 上で公開された仮想マシン (VM) は、バージョン 4.5 の Engine の上では実行されません。
- Synchronizer 4.5 上で公開された VM は、バージョン 5.0 の Engine の上で実行されます。Engine は、自動的に VM のドライバーを更新します。
- このリリースでは、Synchronizer をアップグレードする前に Engines をアップグレードします。

-  このリリース 5.0 のドキュメントで説明されているアップグレード手順は、以前のリリースで正しいとされていたアップグレード手順とは異なっています。このリリースでは、最初に Engines をアップグレードしてから、次に Synchronizer をアップグレードすることを推奨します。

-  リリース 5.0 では、Engine より前に Synchronizer をアップグレードしても、Engine をアップグレードするまでは Synchronizer から Engine に VM の新しいバージョンを展開できません。Engine の前に Synchronizer をアップグレードしようとする、Engine を同じバージョンにアップグレードするまでは、VM を適切に起動できないことがあります。

## バージョン 5.0 のアップグレードベストプラクティス

---

Engine と Synchronizer を XenClient Enterprise バージョン 5.0 にアップグレードするには、このセクションの情報を使用します。アップグレードを明示的に実行するため、次の手順に従います。

バージョン 5.0 にアップグレードするには

1. Synchronizer に 5.0 の Engine アップグレードキットをインポートします。この段階では Synchronizer をアップグレードしないでください。
2. 制限された数のテストコンピューターに新しいバージョンの Engine を展開します。

3. 新しいバージョンの Engine が適切にインストールされたか、また VM が PV ドライバのバージョン 5.0 に更新されたか確認します。
4. すべてのコンピューターに、新しいバージョンの Engine を段階的に展開します。
5. すべてのコンピューターが最新のバージョンの Engine でアップグレードされたら Synchronizer のアップグレードを開始します。
6. Synchronizer がバージョン 5.0 にアップグレードされた後、(必要な場合は)新バージョンの VM を公開し、標準のプロセスを介してそれを展開します。

## 手順 1:更新ソフトウェアの入手

XenClient Enterpriseソフトウェアコンポーネントは、ソフトウェアダウンロードページから入手できます。通常、新しいバージョンにはEngineとSynchronizerの最新版が含まれますが、Engineのみのバージョンがリリースされることもあります。この場合は、手順 2、3、および 7 をスキップできます。

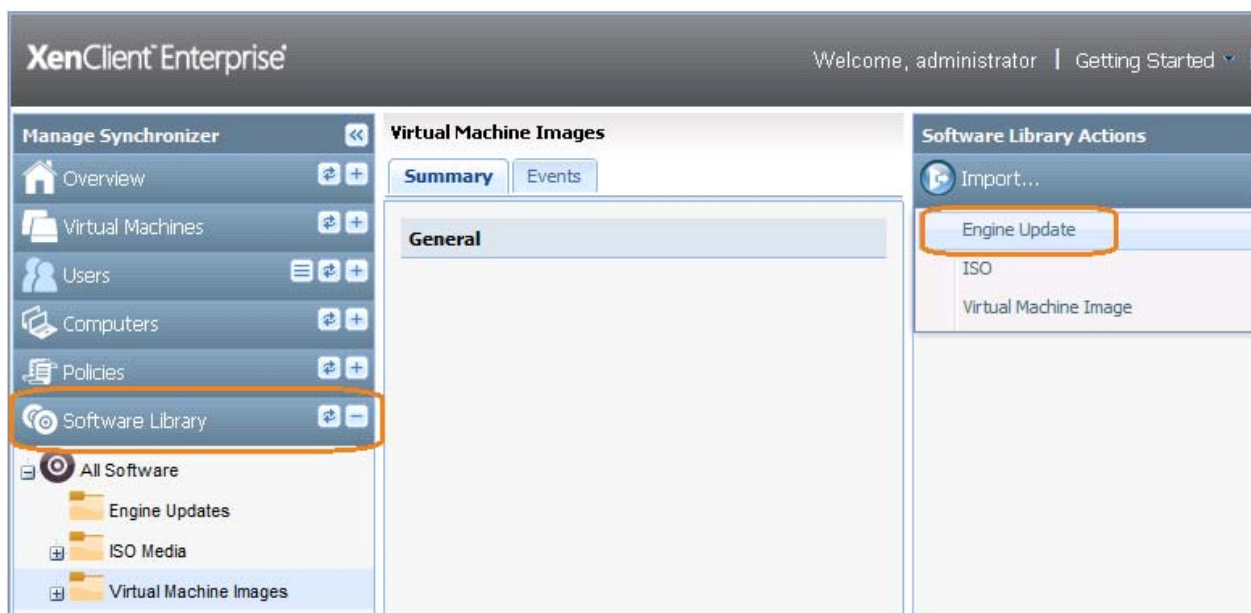
## 手順 2:SynchronizerへのEngineインストーラーのインポート

Engine アップデートキットとして、Synchronizer 内に Engine インストーラーISO ファイルをインポートできます。これを実行するには、ISO ファイルを最初に Synchronizer ファイルインポートフォルダーにコピーする必要があります。デフォルトの場所は次のとおりです。

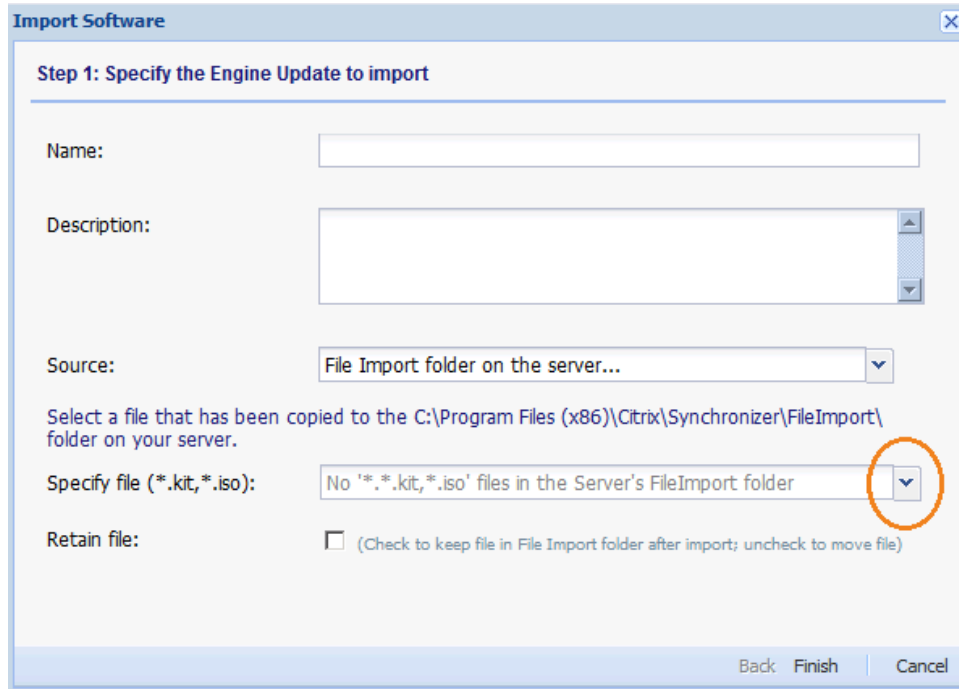
C:\Program Files\Citrix\Synchronizer\FileImport

次に、Synchronizer Console で以下の操作を実行します。

1. Software Library セクションを開き、[Import] をクリックします。

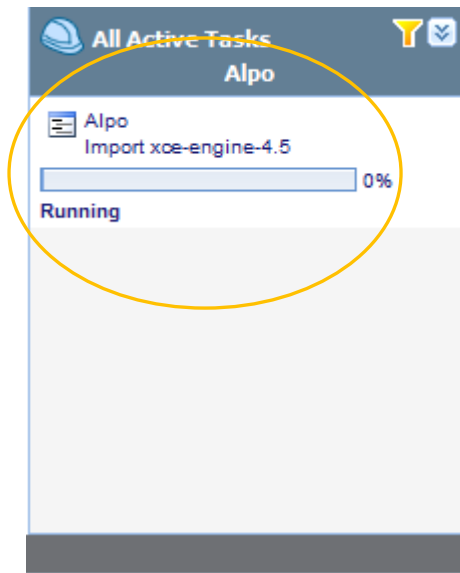


2. [Engine Update] オプションを選択します。



3. [Specify file] ラベルのそばにあるドロップダウンの一覧をクリックします。(上の図を参照)
4. Engine ISO ファイルが一覧に表示され、それを選択します。
5. [Finish] をクリックしてインポートを開始します。

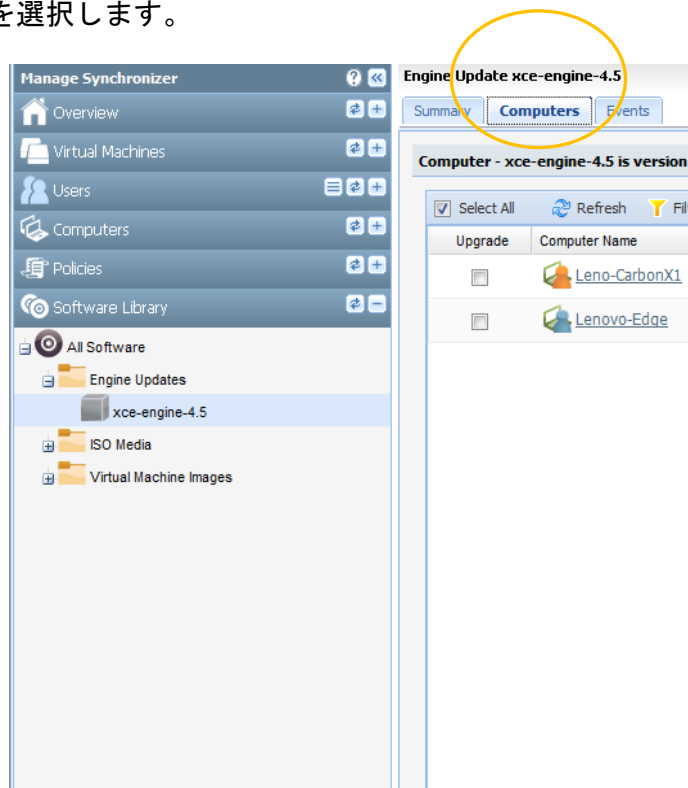
インポートを処理するため、新しいバックグラウンドタスクが作成される必要があります。



タスクが完了したら、新しいバージョンの Engine をコンピューターに割り当てることができます。

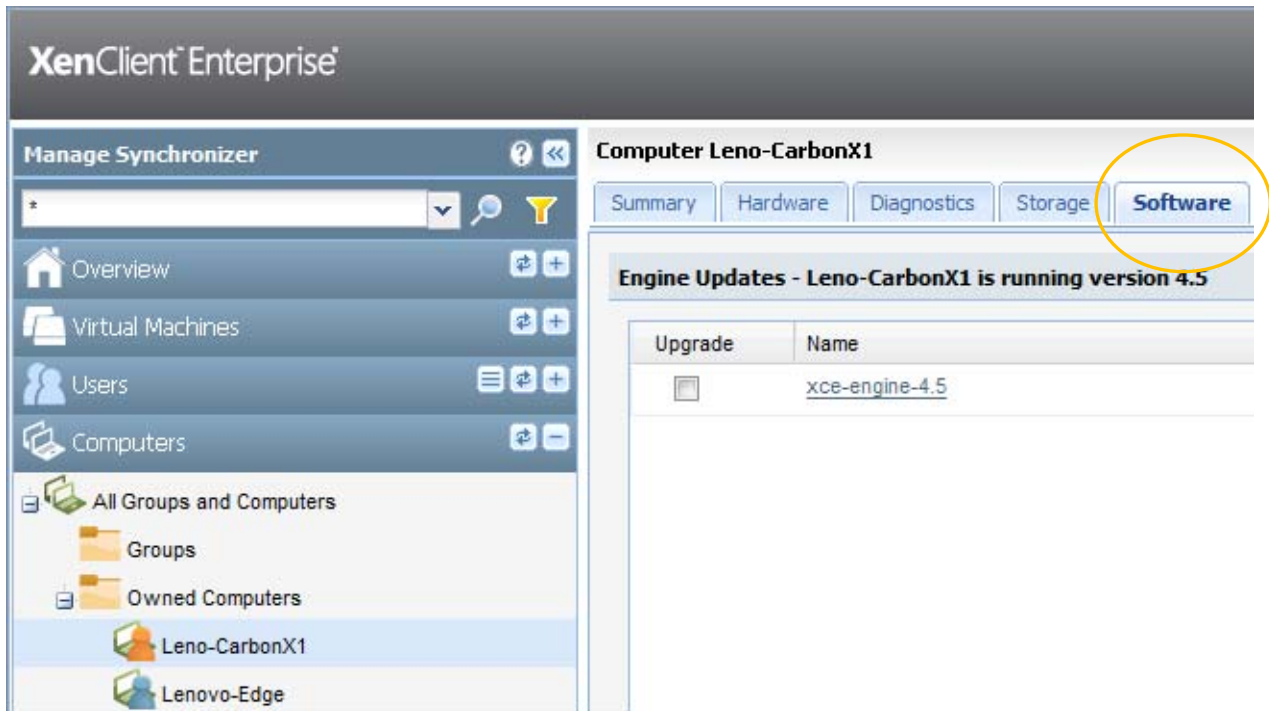
### 手順 3 : コンピューターへの新しいバージョンの Engine の割り当て

Synchronizer Console で、ナビゲーションパネルの [Software Library] セクションを開き、前の手順で作成された新しい Engine アップデートキットを選択します。次に、真ん中にある [Computers] タブを選択します。



[Upgrade] チェックボックスをオンにして、新しいバージョンの Engine を個々のコンピューターに割り当てることができます。

または、特定のコンピューターへ新しいバージョンの Engine を割り当てるには、[Computers] セクションでコンピューターを検索し、真ん中にある [Software] タブを選択して、新しいバージョンの Engine をコンピューターに割り当てます。



## 手順 4：光学またはUSBメディアを使ったEngineのアップグレード

Synchronizer に登録されないコンピューターの場合は、光学メディアまたは USB メディアから Engine を直接アップグレードする必要があります。前述の手順のように、Synchronizer を介したアップグレードが通常は利便性が高いですが、必要な場合は Synchronizer に登録されたコンピューターに対してもメディアを使ってアップグレードを実行できます。

ISO ファイルを DVD メディア（CD では容量不足）に焼くか、『USB 大容量記憶装置デバイスへの仮想マシンのエクスポート』の「USB メモリスティックの使用による XenClient Enterprise Engine のインストール」の説明を参照して、起動可能な USB ストレージデバイスを Engine ISO から作成します。次に、光学メディアあるいは USB メディアからコンピューターを起動します。これにより Engine インストーラーが起動し、またこれを既存のインストールのアップグレードにも使用できます。特定のインストーラー画面については、次の点を考慮します。

- **画面 1**：「Engine をインストールする」オプションを選択します。「Engine をアップグレードする」オプションはありませんが、インストールオプションによって新規インストールとアップグレードの両方を制御できます。
- **画面 2～4**：ようこそ、エンドユーザーライセンス契約、およびキーボードレイアウトの画面。次の画面に進みます。
- **画面 5**：表示されるまで数秒かかることがあります。既存の Engine インストールが検出されたら、それをアップグレードするか、またはいったん削除してから再インストー



ルできるようにするかを選択するオプションが表示されます。 アップグレードオプションを選択します。

画面の指示に従って残りの画面を進め、Engine インストーラーにより既存のインストールがアップグレードされます。

## 手順 5 : ローカルまたは展開済みのカスタム VM 用の PV ドライバーのアップグレード

---

コンピューターに Synchronizer から展開されたカスタム VM イメージがある場合、あるいはコンピューター上に直接インストールされたローカル VM がある場合にのみ、この手順が必要となります。 展開された共有 VM イメージについてはこれを実行する必要はありません。

## 手順 6 : Synchronizer のアップグレード


---

Synchronizer のアップグレードは難しいものではありませんが、決められた順序どおりに実行する必要があります。 1 つまたは複数のリモート Synchronizer インストールがある XenClient Enterprise 環境の場合、手順 2.4 および 2.5 で説明されているように、プライマリサーバーおよびすべてのリモートサーバーと一緒に正しい順番でアップグレードする必要があります。

### 手順 6.1 : サーバーに対する Synchronizer インストールプログラムのコピーまたはダウンロード

---

既存のインストールをアップグレードするためにも、Synchronizer インストールプログラムを使用できます。 プライマリ Synchronizer サーバーおよびすべてのリモート Synchronizer サーバーのローカルディスクにインストールプログラムをダウンロードまたはコピーする必要があります。

 ネットワークまたは USB ストレージからのインストールプログラムの実行は推奨されません。

### 手順 6.2 : XenClient Enterprise Synchronizer のバックアップ

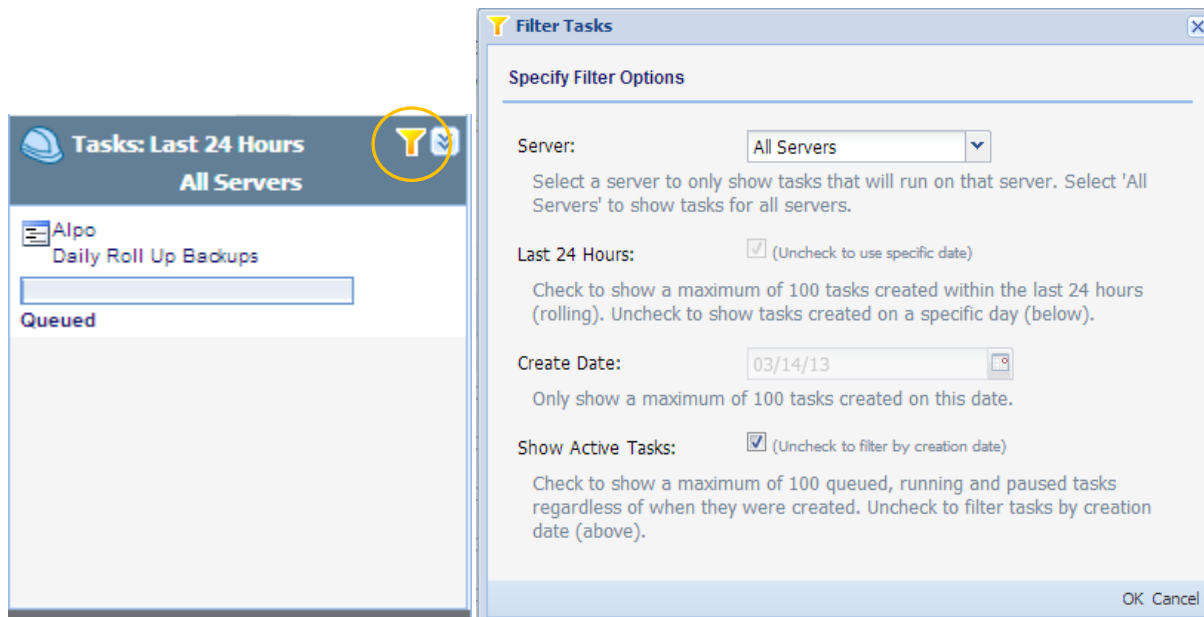
---

実稼働システムの場合、新バージョンにアップグレードする前に（データベースを含む）Synchronizer およびすべてのリモート Synchronizer インストールをバックアップする必要があります。

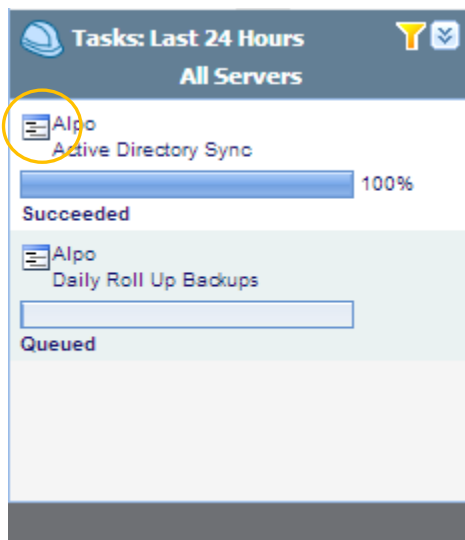
### 手順 6.3 : 実行中のすべてのタスクのキャンセル

---

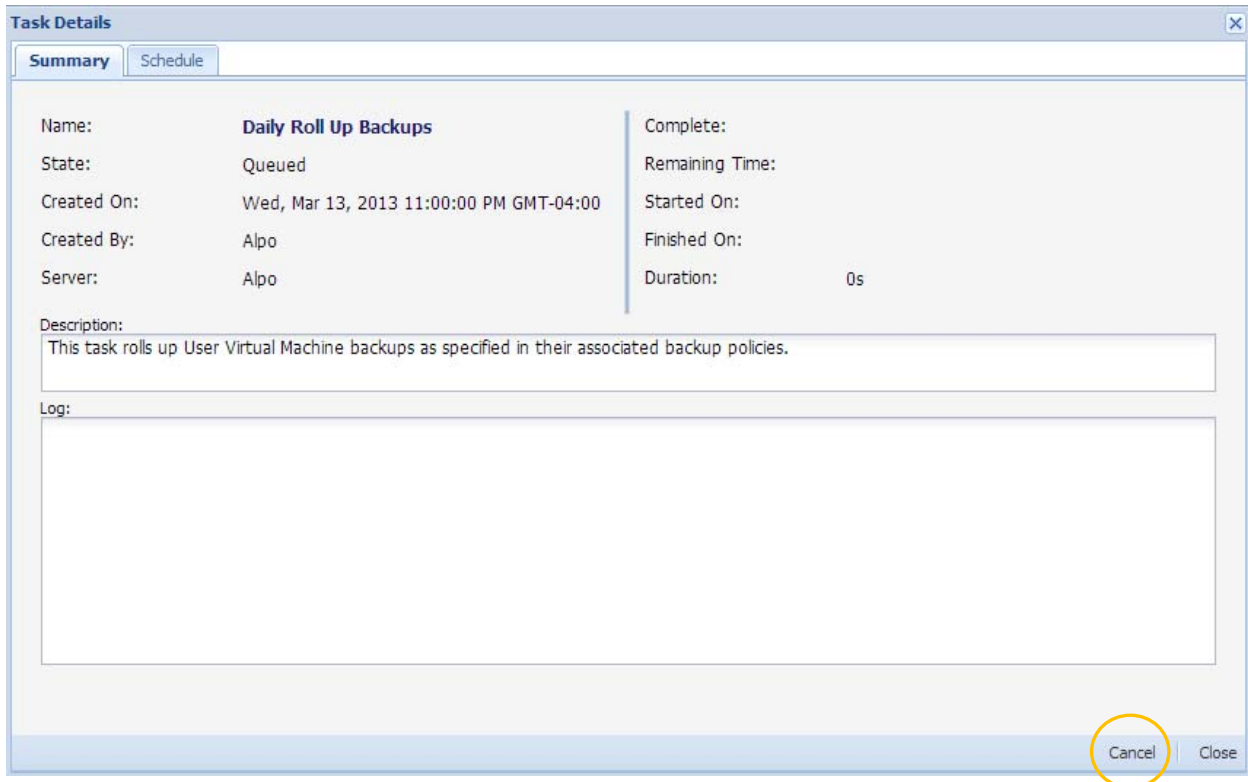
Synchronizer へログインし、[Task Filter] を変更して [All Active Tasks] を表示します。



これにより、そのタスクがいつ作成されたかには関係なく、実行中でキューに登録され、また一時停止にされているタスクを表示するタスクの一覧が更新されます。各実行中のタスクに対して、それが完了するのを待つか、またはタスクのプロパティを表示します。



また、タスクをキャンセルします。



- ❗ [Daily Roll-Up Backup] タスクがキャンセルされたら、タスクを再スケジュールする必要があります。

## 手順 6.4 : すべてリモート Synchronizer インストールのシャットダウン

実行するリモートサーバーのソフトウェアのバージョンは、プライマリサーバーのバージョンと一致させることが重要です。プライマリサーバーのアップグレード中は、すべてのリモートサーバーをシャットダウンする必要があります。

- ❗ Windows サーバー全体ではなく、Synchronizer サービス（Apache Tomcat サービス）のみをシャットダウンする必要があります。新規アップグレードを実行する場合、サービスは自動的に停止します。

## 手順 7 : すべての VM イメージの再公開

Synchronizer インストールをアップグレードした後、すべての VM イメージを再公開して PV ドライバーの新しいバージョンを入手する必要があります。すべての公開操作と同じように、更新されたイメージを広範囲にわたって展開する前に、段階的な展開環境にそれを公開して数名のユーザーがそれを入手してテストするのが理想的です。

## 次の作業

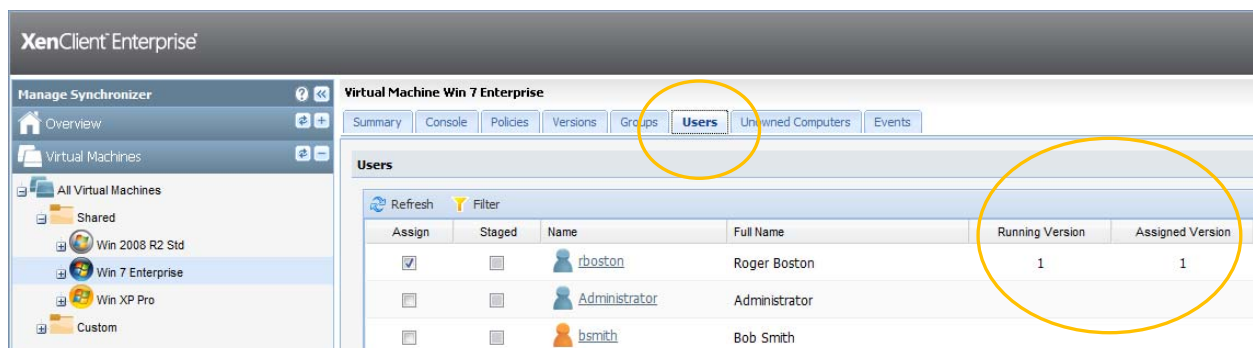
VM イメージが Synchronizer で再公開されたら、VM イメージの新しいバージョンが通常のプロセスに従ってクライアントコンピューター上にダウンロードされてインストールされます。クライアントコンピューターにより、Engine アップデートキットもダウンロードされます。多くのクライアントコンピューターがある場合、または Synchronizer といくつかのコンピューター間に低帯域幅の WAN リンクがある場合、ダウンロードが完了するのに長時間かかることがあります。しかし最終的には、すべてのクライアントコンピューターを新しいバージョンの Engine および更新された PV ドライバーがある VM イメージの新しいバージョンに自動的にアップグレードする必要があります。エンドユーザが実際にダウンタイム状態になるのは、新しい VM イメージバージョンを適用するために VM を再起動し、および新しい Engine ソフトウェアバージョンを適用するためにコンピューターの再起動する間のみです。

## リモートオフィスサーバーの影響

リモートオフィスサーバーがある展開環境では、リモートクライアントコンピューターをリモートオフィスサーバーからダウンロードする前に、プライマリサーバーから VM イメージの更新プログラムおよび Engine アップデートキットをリモートオフィスサーバーによってダウンロードする必要があります。リモートオフィスサーバーは一般的には WAN リンクでプライマリサーバー接続されるため、リモートサーバー上で更新プログラムが使用できるようになる前に、かなりの遅れが生ずることがあります。この間、リモートクライアントコンピューターは「更新ダウンロードの準備」状態（更新プログラムの存在を Engine が認識している）になることがあります。リモートサーバー上ではそれをまだ使用できません。プライマリサーバーからリモートサーバーまでのダウンロード状態を、Synchronizer コンソールのタスクとして追跡できます。

## VM イメージ更新の状態の追跡

VM イメージ更新の状態を追跡するには、ナビゲーションパネルで Synchronizer コンソールの [Virtual Machines] セクションを開きます。公開された VM イメージを検索し、次に [Users] タブを選択します。次の列は更新状態を示します。



The screenshot shows the XenClient Enterprise interface. The left sidebar shows the 'Virtual Machines' section with 'Win 7 Enterprise' selected. The main area displays the 'Users' tab for the selected VM. A table lists the users and their version information. Two yellow circles highlight the 'Users' tab and the 'Running Version' and 'Assigned Version' columns.

Assign	Staged	Name	Full Name	Running Version	Assigned Version
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	rboston	Roger Boston	1	1
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Administrator	Administrator		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	bsmith	Bob Smith		

この画面には次のものが表示されています。

- **Assigned Version** : Synchronizer でユーザーに割り当てられた VM イメージのバージョン。
- **Running Version** : Synchronizer で最後にチェックインした時にコンピューター上で実際に実行していたバージョン。実行中のバージョンが割り当てられたバージョンとは異なることがあるのにはいくつか理由があります。
  - 新しい VM イメージのバージョンが割り当てられて以来、コンピューターが Synchronizer にチェックインしていない。
  - コンピューターが更新プログラムをダウンロードまたはインストールしている最中。
  - コンピューターは更新プログラムをインストールしたが、新しいバージョンを適用するために VM が再始動されるのを待機している。
  - エラーが発生し、新しいバージョンがダウンロードまたはインストールされるのが阻止された。

詳細は、クライアントコンピューターから取得できます。 VNC リモートヘルプデスク機能は、VM イメージの更新プログラムをインストールできなかったかを判別するの多くの場合で非常に有用です。

## Engineの更新状態の追跡

---

Synchronizer から配信された Engine の更新の状態を追跡するには、Synchronizer コンソールの [Software Library] セクションを開きます。 Engine の更新プログラムのエントリを検索し、次に [Computers] タブを選択します。 [Upgrade] カラムにはアップグレードの状態が表示されます。

- **Blank** : 進行中のアップグレードまたは完了したアップグレードはありません。
- **Pending** : コンピューターがまだ、Engine の更新プログラムを入手するためにチェックインしていません。
- **Signalled** : コンピューターが更新プログラムを利用できることを検知し、それをダウンロードまたはインストールしています。
- **Installed (Reboot Required)** : 更新プログラムがインストールされていますが、それを適用するにはコンピューターを再起動する必要があります。
- **Failed** : Engine の更新プログラムをダウンロードまたはインストール中にエラーが発生しました。